

安全ニュース速報

過日、超高圧水処理作業中に重大事故が発生いたしましたのでご報告するとともに、今後の安全対策について周知徹底を図り再発防止につなげるよう、お願いをいたします。

1. 事故の概要

- (1) 事故の主たる要因：ウオータージェットガンのトリガー（引き金：作動スイッチ）をテープによりスイッチONの状態に固定していたことによる。
- (2) 発生時の状況：作業中作業員が何らかの理由でウオータージェットガンが手から離れ、固定により緊急停止が不可能な状態で制御不能となり、近隣にいた同僚の胸部に向けて超高圧水が噴射し重傷を負う結果となった。
- (3) 事故の顛末：重傷を負った同僚は、ドクターヘリにより緊急搬送され、警察が介入する重大事故となった。
- (4) 当該事故について、施工関係者への聞き取り調査により、ウオータージェットガンのトリガー（引き金：作動スイッチ）をテープによりスイッチONの状態に固定する方法は、超高圧水処理業者では常態化しているとの証言が確認された。

2. 安全対策について

ウオータージェットガンのトリガー（引き金：作動スイッチ）をテープによりスイッチONの状態に固定する方法は、作業者の手指への負担を軽減する目的と推察されるが、緊急時の安全が一番担保されるトリガーを固定する方法は、自殺行為又は第3者に対する傷害的行為と言えます。**絶対に止めてください。**

この事故は、単に超高圧処理業者のみの責任ではありません。施工を依頼した防食施工会社の**安全管理責任が大きい**ものと考えます。

会員防食施工会社及び超高圧水処理業者の皆様におかれましては、関係者全員に対し周知徹底を図り、再発防止をお願いする次第です。

なお、超高圧水発生機メーカーでは、トリガーを大きくし負担を軽減のできるウオータージェットガンを取り扱っているようですので、メーカーにご相談するなどご対応をお願いします。

この度の事故が警察沙汰になったこと、及び、元請が存在したことなどより、発注者、元請、場合によれば労働基準監督署等により厳しい指導が予測されます。

基本に戻り現場関係者の安全を守る行動を、お願いいたします

（株）スギノマシンのHPより事故発生時の「現場向け」「医療関係者向け」への処置対応文章を添付しますので、ご一読いただき超高圧水による人身事故の恐ろしさをご確認ください。

令和2年12月

（一社）日本コンクリート防食協会事務局